

令和6年度 第1回湖東圏域公共交通活性化協議会総会

開催日 令和6年7月10日（火）15時00分～16時15分

開催場所 彦根勤労福祉会館 4階 大ホール

出席者 別紙参照

1 開 会

2 議 事

(1) 「第1号議案 専決処分につき承認を求めること」について（資料1）

- ・ 第1号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、異議無く承認された。

(2) 「第2号議案 令和5年度事業報告」「第3号議案 令和5年度決算報告」について（資料2、3）

- ・ 第2号議案、第3号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。その後、異議無く承認された。

● 森委員（彦根市社会福祉協議会 地域支援課長）

- ・ 事業報告のP.14に愛のりタクシーのWEB予約システムの運用の記載があるが、高齢者の方はWEBでの予約は苦手である。WEB予約システムはどのような方が利用しているのか、教えて欲しい。
- ・ また、愛のりタクシーの出前講座について、資料を提供頂ければ当協議会でも周知を行う。

● 事務局

- ・ 手元に資料がないので詳細な報告はできないが、事務局で把握しているのは高齢者の方の子供世代が代わりに予約しているケースが多い。
- ・ 現在も要望に応じて出前講座を開催しており、一時期開催数が減っていたが、開催要望が増えてきているので、引き続き開催していく。また、パンフレット等もあるため、協力させていただく。

● 辰野委員（近江タクシー株式会社 取締役業務部長）

- ・ 令和6年度4月では18.1%、5月では18.4%がWEB予約となっており、若い方が多く、高齢者の方は使い勝手が悪いと少ない。ただし、電話での予約も行っているため、高齢者の方は電話にて丁寧に対応させていただいている。

(3) 「第4号議案 令和6年度における公共交通利用促進策」について（資料4-1～4-3）

- ・ 第4号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、以下の通り質疑応答が行われた。その後、異議無く承認された。

● 森委員（彦根市社会福祉協議会 地域支援課長）

- ・ 今年度は 10/19（土）～20（日）にご当地キャラ博が開催されるが、イベント等とタイアップしてはどうか。

● 事務局

- ・ ご当地キャラ博の日付を把握できていなかったが、近江鉄道と協力して盛り上げられたら良い。

（４）「第５号議案 湖東圏域地域公共交通利便増進実施計画」について（資料５）

- ・ 第５号議案について、事務局より議案書に基づき説明及び報告がなされ、異議無く承認された。

（５）「報告事項 お盆期間の路線バスダイヤ」について（配布資料）

- ・ 配布資料について、北村委員（湖国バス株式会社 取締役業務部長）より説明及び報告がなされたが、質疑はなかった。

（説明内容の概要）

- ・ 湖国バスでは乗務員の高齢化（会社全体の平均年齢は 54.2 歳）が進んでおり、充足率（１日の業務に対する過不足数の比率）も進んでいる。
- ・ 湖東圏域では充足率 87.8%（１日あたり過不足数 ▲2.8 人）。
- ・ 例年、近江鉄道や湖国バス（湖東圏域以外）では 8 月 14 日～16 日のお盆時期は土日祝ダイヤで運行し、湖東圏域だけは平日ダイヤで運行していたが、今年度は湖東圏域でも土日祝ダイヤで運行する予定。
- ・ 今年度のお盆時期は 8 月 13 日（火）～8 月 16 日（金）と設定。
- ・ 令和 5 年度の実績では平日 1 日の平均利用者数 1,194 名に対し、お盆時期は 1 日平均 600 人前後のため、大きな影響はない。

（６）「報告事項 他地域での事例（ニューズレターの参考）」について（配布資料）

- ・ 配布資料について、田中委員（滋賀運輸支局主席運輸企画専門官）より説明及び報告がなされたが、質疑はなかった。

（説明内容の概要）

- ・ 兵庫県猪名川町と京都市交通局の事例を紹介。
- ・ 猪名川町では公共交通がなくなる可能性があることに対して、住民に危機感を共有するために、２回に分けてパンフレットを作成し全戸配布を行っている。１回目は「まさか無くなるなんて」と題し、全国や町内の公共交通の現状を示し、持続可能な公共交通について住民に考えてもらうように問いかけている。２回目は「みんなで乗ろう公共交通」と題し、便利でお得な情報提供、公共交通の実情を語るために交通事業者へのインタビュー記事、実際の猪名川町での取り組み紹介等を記載。
- ・ 京都市交通局は職員がイラスト（キャラクター）を作成し、若い方をターゲットとして公共交通の問題を身近な問題として考えてもらうようなきっかけづくりを行って

いる。

- ・ 事例以外では、全国的な運転手不足の対策として賃金を上げたいが、運賃改定について厳しい審査があること、乗車密度が数人であると事業が成り立たないこと等の国の立場としての意見。
- ・ 令和6年5月31日に、地域の公共交通リ・デザイン実現会議とりまとめの記者発表があったことの情報提供。地域の足の確保について国は、地域交通のリ・デザインや共創といった、地域資源の総動員という形で地域交通を守っていこうという方向に転換している。

(7) その他

● 轟副会長（滋賀県立大学准教授）

- ・ 彦根市では総合計画の会議の中で、外部評価にてKPIの実現が厳しいので改善するか、新たな施策をするように意見が出ていたが、事務局としてどう対応していくのか。

● 事務局

- ・ KPIは総合計画と総合戦略があるが、愛のりタクシーは乗合率、その他の公共交通は利用者数が挙げられている。
- ・ 新たな掘り起こしという点で、グリーンスローモビリティ等の新たなモビリティの導入も考えられるが、事務局としては今までの取り組みを継続しつつ、愛のりタクシーではエリア拡大も視野に入れて検討したいと考えている。

● 轟副会長（滋賀県立大学准教授）

- ・ グリーンスローモビリティやパーク&バスライド、近江鉄道との取り扱いはどのように考えているのか。

● 事務局

- ・ パーク&バスライドは数年間、グリーンスローモビリティは2年間の社会実験を行ってきたが、今年度は社会実験等を実施せず、机上での研究を行う予定である。
- ・ 国や県の支援制度があれば更なる検討や活用を考えたいと思っている。現時点で明言はできないが、新たなモビリティ導入も1市4町で継続的に検討していきたい。

● 轟副会長（滋賀県立大学准教授）

- ・ 近江鉄道や国体への対応として、事務局での施策や考えはあるのか。

● 事務局

- ・ 近江鉄道は利用促進としてICOCAの導入を検討しており、具体的な導入時期は聞いていないため、沿線市町で情報を共有していきたい。
- ・ 国体では一部の地域で滋賀県がライドシェア導入を検討しているらしいが、具体的な情報の共有はないため、注視していく。

● 轟副会長（滋賀県立大学准教授）

- ・ 国体でグリーンスローモビリティやパーク&バスライドの導入は考えていないという理解で良いか。

● 事務局

- ・ パーク&バスライドは調整する予定である。
- 轟副会長（滋賀県立大学准教授）
 - ・ ウォーク&ブルなまちづくり施策を都市計画部局で進めており、また観光移動や回遊性なども重要であるため、関連する部局と連携して取り組んで欲しい。
- 轟副会長（滋賀県立大学准教授）
 - ・ 路線バスの無料 DAY について、今年度はガチャフェスに合わせて行うが、利用促進策として来年度は復活する予定か。
- 事務局
 - ・ 復活させたいと思っているが、確約はできない。
- 轟副会長（滋賀県立大学准教授）
 - ・ 例えば、謎解きイベントのように、実際にその場に訪れないと回答できないようなイベントと組み合わせることで、無料 DAY も面白くなるのではないか。
- 飯田委員（近江鉄道株式会社 代表取締役社長）
 - ・ 路線バスと連携して今年度もガチャフェスを開催させていただく。去年は 49 か所でイベントを開催したものの、反省として周遊方法を重視できるように、若手社員を中心に企画を考えている。

3 閉 会

以上